

種子島中学校

大田 豪

離島甲子園に行き、たくさんの楽しいことがありました。

移動では今年開通した、九州新幹線に乗りバスから船での移動はみんなと仲良くしゃべりました。組合わせ抽選会もなんか楽しかったです。

試合では北海道の奥尻ウにまるファイトーズとして、惜しくも四対三で負けましたが、

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

みんなが最後まで、頑ばれたので良かったです。交流試合はベニチ全員試合に出て、勝つたので良かったです。

先はいたちの結果はこえがなかつたけどみんなが試合ができたので良かったです。

野球教室でたくさんのプロ野球選手(元)と会って体の大きさもちがたし、引退しているのにすごく体が動いてました。また色々なことを教えてもらい、すごく楽しく勉強になりました。

さよならパーティーは楽しくカレーもおい
しかっただです。最後は盛り上がりました。
帰りは来た通りに帰りました。
最後の試合楽しく終わって良かったです。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

学校名

種子島中学校

学年

3年2組

氏名

土南 光太郎

性別

男・女

題名

離島甲子園を終えて

ぼくたちは、離島甲子園の大会があったの
 下上島という島に4泊5日の長い日程をすご
 しました。開会式ではとてもごうかであくさ
 んのおかしやボールや上島町の記念のタオル
 ももらいました。ホテルでのおもてなしもよ
 くとても充実した生活をおくることができま
 した。
 開会式の時組み合わせ抽選会の結果相手
 は奥尻うにまるファイターズというチームで

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

した。奥尻うにまるファイターズには去年の
 離島大会で勝ったことがあるので少し勝つ自
 信がありました。去年は準優勝というすばら
 しい結果だった。今年で今年優勝をしてきてほ
 しいとほとほとの期待が大きかった。なので優勝す
 ると気合が十分でした。
 そして奥尻うにまるファイターズとの試合
 が始まりました。その日は久しぶりの試合だ
 たのでちょっと体の動きがぎこちなくなっ
 ていました。暴投を投げられる人もいれば、スイン

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

グにかもなくフライを上げる人も多かったです。でも3点差を追う最終回にヒットやアバールなどで1点差までちぢめました。2アウトランナー二塁いでぼくが代打で出場しました。ぼくは最近よく打てるようになってきたので打ってやろうと思ひ打席に立ちました。その一球目ピッチャーの暴投でランナーが進んで二アウトランナー三塁いよいよ場面になりました。ピッチャーの球はそんなにすごいとは思わなかったのでなんだか打

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

てそうぼくがしました。そして2球目はぼくの体に当たってデッドボールになりました。次のバッターで終わってしまった。4しうで負けました。とても悔やしかつたです。優勝することはできなかつたけど大流戦では勝つてとができて良かつたです。サヨナラパーティーでは他校のチームと交流を深めることができたので良かつたです。このようにはらししい大会をひらいてくれてとてもうれしかつたです。

学校名

種子島中学校

学年

3年2組

氏名

上村 光矢

性別

男 女

題名

離島甲子園

上村 光矢

8月20日から8月22日まで愛媛県の上島町で開催されました。僕達種子島中学校は去年の先輩の方々の結果を上回る事が一番の目標でした。その目標のために県総体終了ご練習を続けてきました。みんなまだ野球ができるということで、とてもびのび練習に取り組んでいました。そして、出発の二日前に市役所に訪問に行きました。そこでしっかりと一

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

人一人決意の言葉を発表しました。そして、よいよ楽しみみな離島甲子園に出発する日がやってきました。

新幹線に乗り会場に到着しました。そして、対戦相手も決まり楽しみがふくらんできました。そして夜のミーティングではみんなでも通り戦おうと話していました。

そして試合当日、いつも通りみんな体操をして、キャッチボールをして準備を整えのえましました。そして、いよいよ試合がはじまりました。

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

学校名

学 年

年

組

氏名

ふりがな

性 別

男 女

試合では、いつもより声が出ませんでした。先制点を取られてしまいました。でもあきらめず相手にプレッシャーをかけた。一点を返すことができました。でも点差をはなされて負けてしまいました。負けましたけど後悔もくやしきありませんでした。理由は一つ自分の力不足ができたからです。そして、そのあとの交流戦では勝つことができました。とてもうれしかったです。ぼくは、この大会に参加して思ったことは

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

この試合は協力してくださる方がたくさんいるんだと思いました。自分達だけではできなかったことがたくさんあるんだと思いました。これからもたくさんの子供が交流できる試合がたくさん増えて、子供のレベルアップができるようにたくさんの方ができてほしいです。そして来年の後輩にはぜひ優勝してほしいです。

作品番号	1	2	3	4	合計

学校名

種子島中学校

学年

三年 二組

氏名

長倉 洋平

性別

男

題名

離島甲子園

八月十八日から八月二十二日まで愛媛県で

離島甲子園がありました。一日かけて愛媛に

行きました。始めて九州を出たのです。すごいワ

ワワワしました。一日目は愛媛に行くだけで

終わって二日目は開会式と一試合目があり

ました。二試合目は奥尻のウニまるフマイ

タイズでした。初回は

回はエラーから得点につながってそのまま

いってバツテイングでもあまり打てず、そ

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

の試合は負けてしまいました。すごく悔しか

かったです。でも次の日、交流戦があると聞い

てその試合こそは出たかったです。っかりす

ぶりをして、試合の準備をしました。すること

次の日の試合では、Bチームが出ることにな

りました。僕はまさかBチームが出ると思

りなかつたのでびっくりしました。でも出

るからにはしつかり自分の仕事をしたい

と思いをしました。そして次の日になって相

手は飛羽せんぱつでした。せんぱつなので

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

強い人だなあと思いました。試合が始まって最初に僕達が一点取って僕は勝ったと思っていました。でもその次の回にエラーで一点返されました。その次の回にも一点取られて逆点されました。僕はちよこやばいなと思っていました。そこでせんばつだつた力人が守辰にかわって守辰もしっかりおさえてくれました。そして次の回に僕の打席で初打席だったのでいきんちようしました。一球目セーフティバントのサインで失敗して次の球は打ての

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

サインで僕は絶対に打とうと思いましたが、でもカッばかりで打てませんでした。そしてフルカウントになって僕は打てるか心配で、した。でも次の球を打って三塁打になりました。そして、龍生がしっかりと返して同点になりました。そして最終回になってAチームが出て三打二で勝ちました。すぐくうれしかつたです。最後の最後で打たのでよかったです。そして次の日種子島に帰りまし

学校名

種子島中学校

学年

三年

組

氏名

鮫島 優

性別

男・女

題名 試合の悔しさ

ぼくは今日が初めての離島甲子園でした。去年の準優勝という成績を絶対に抜ける優勝できると思っていました。しかし、夏に県大会からチームの状態が悪かったです。

一回戦の試合今までエラーをするようなことは無かったのにミスが重なって失点して、たった二、三点の点差であせって早いカウンタから難かしい球を凡打して、塁に出たのに慎重になつて盗塁もエンドランもしない。ノ

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

アウトから長打で出たのに二点しか取れない。最悪な試合内容でした。まるで県大会で負けた時のような内容でした。いままで打って走って守って勝ってきたのに何が原因で負けたのか分からなかつたです。悔しさよりもイライラ感が増しました。遠い種子島から来て試合もさせてもらっているのに一回戦で負けて、保護者、島民のみなさん、鹿児島県のチームにも申し分けない気持ちでいっぱいでした。

作品番号	1	2	3	4	合計

ぼくはこの試合一生忘れられない悔しさが
 残る試合になりました。この悔しさを忘れず
 にこれから野球をがんばりたいです。また
 ぼくたちを育ててくれた先生がいうあひさつ
 礼儀、感謝の心を忘れずにこれからの学校生
 活なとすこしていきたいです。
 いつかこの先ぼくたちを育ててくれた先生
 とむこかで会うことかあれば感謝の気持ち
 を伝えたいです。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

中学生の「税についての作文」原稿用紙

学校名

種子島中学校

学年

三年

組

氏名

戸川 鏡太

性別

男・女

題名
離島甲子園

ほくは、この離島甲子園で、ほかのチームの人と、たくさんあそぶことができました。とういうのかというところ、話したり、ネタをいすうしたりしました。この大会で、三年間の野球生活をきっちりたのしく終らせることができました。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

試合でも、夏の県総体までとはいきませんが、声を出し、元気を出し、いい試合ができたと思います。

ほくは、この大会を聞いてくれた村田さんに感謝しながら、これがもう野球をしていこうと思っています。離島大会をとめて、通常の生活を行くことのできない、回國愛媛で試合をしたことは、一生の思い出になり、一生の思い出になることと思います。

今回の大会で、ほくは、たくさんのお友達と、りかやさ、野球をおもいっきり楽しめました。

一日目は、柳動に一日かかっただんぱりしてました。

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

二日月、とうとう試合がはじまりました。
 結果はさんねんでした。たのしかったです。
 三日月、負けチームで試合をして、
 二部の人たちも試合を楽しめました。
 一つ心のこりなのは、試合時間が九十分た
 たくてです。中学野球は、七回まで下まると
 たから、七回までやりたかったです。決勝は
 雨で中止にな。たのしかったです。楽
 しそうにやっていたのが、たと思えます。
 最後の飲み会も、おもしろかったです。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

とてまじがった、朝高大会月でい下した。次
 の後、強いの下、こうはいに、すやて
 そむさうぶたいと思えます。

中学生の「税についての作文」原稿用紙

雑島甲子園

森 龍生

ぼくたちは、八月十八日に三年生二十人で種子島から愛媛県の上島に行きました。ぼくたちは、三年生最後の大会でした。初動には一日かかりました。でも新幹線に乗れたのでうれしかつたです。上島についたら、開会せしモノがありました。対戦相手がくじでぐまり、北海道の奥尻うにまるファイターズとしました。1日目は何れも終わりました。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

二日目はいよいよ初戦でした。うにまるファイターズに初回から点をとられて少し苦しいんかいでした。でも六回ぐらいに打線が爆発したけと時間になり、四打三下負け王しました。とつてもくやしなかつたです。その日はとてもおちこんでいました。

三日目は、合流試合がありました。合流戦はBチームで戦いました。相手は鳥羽選ぼうしでした。初回は自分のエラーがあり、一点を先制されました。その時ぼくはとてもおちこ

中学生の「税についての作文」原稿用紙

んでいたら、チームの仲間が声をかけてくれ
 たので、次の打席で絶対に打つと心に決めて
 ました。そして打って点が入って同点になり
 ました。下すか一回にも点を取られリードさ
 れてしまいました。ここでAチームの代打こ
 うせいで満塁になっただから打線がなかり、
 勝つことが出来ました。その時は勝った喜び
 以上に三年生二十名がこの離島甲子園で全員
 出場できなかったのかともうれしくて、チー
 ムで戦えたのがよかったです。その日は、

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

野球教室がありました。元プロ野球選手の人
 たちからすごくやさしく、分かりやすく、
 いろいろなことを教えてくれました。この学んだこと
 を今後に生かせたいなあと感じました。
 最後に、さよならパーティーがあり、他
 のチームの人たちとカシオを食ったり話を
 したり、レクリエーションをしたりなどいろ
 いろ合流を深めることが出来ました。

ほかはこの離島甲子園で全国の離島のチ
 ームと試合が下すてもうれしかかったです。

中学生の「税についての作文」原稿用紙

学校名

種子島中学校

学年

三年四組

氏名

石元 亮太

性別

男

題名

離島甲子園

8月18日から22日まで愛媛県の上島町で第四回離島甲子園が開さいされました。最初は抽選会がありました。一回戦は北海道の奥尻うにまるファイターズというチームと試合がきまりました。

そして19日に試合でした。最初に点を取らあましたが後からどんどんおいつきました。でも、一点差で負けてしまいました。くやしかったけど、しっかりと応えんもできたので

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

本当によかったです。

3日目は交流試合がありました。ぼくはキックチャーで出ました。交流試合は初回は負けていたけど後から逆点をして勝ちました。うれしかかったです。

次の日は、さよならパーティーがありました。さよならパーティーでは、他の離島からきたチームも全チームで飯をたべたりしました。他のチームの人たちは、あまり話はしませんでしたが、レクリエーションなど、

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

しい事をしておもしろかったです。

そして、この離島大会が最後の試合だったので、まだ野球をやりたかったなあと思います。この三年間、先生方にいろいろなことを教えられてたくさんのお話を学んだので、感謝の心を忘れないようにしたいと思います。最後に、チームのみんなといっしょに野球ができて本当に良かったです。来年の離島甲子園では、優勝をしてきてほしいです。この離島甲子園では、いろいろなこ

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

とき学び、いい思い出になって良かったです。

離島甲子園

榎元 偉大

ぼくたち種子島中学校野球部は、昨年、種子島で開かれ、先輩たちが準優勝をしてくださった。たおかげで離島甲子園という最後のチャンスを得られました。

この大会は今年、愛媛の上島町という島でありました。ぼぼ一日をつかって大会のある上島町にいったのでとても疲れました。

そしてついでからはトーナメントの抽選を

やり相手が決まりました。ぼくたちの一試合目の相手は、北海道の奥尻ウニマルフーズイターズでした。ぼくたちは勝つ気は充分にありました。

そして試合当日、ぼくたちは試合がはじまる直前に時間制の九十分ということを知りませんでした。

そして試合がはじまり最初はいつもどおりやっていたけれど一点もとられつからんだん時間というものがついていないものにあせりはじめ

ました。そして最終回、ニラウト、ラニナイ
三塁、五対三で負けているとき、ぼくに打順が
回ってきました。ぼくはいままで二打数無安
打でした。とてもきんちううしました。
だけ、コーストライルノールがらレフト
オーバーを打ちました。これで五対四になり
ました。
そして次のバッターはデッドボールでした。
長打で逆転という場面、次のバッターがピッチャー
前で試合が終わりました。

その後、日母交流戦をして三対二で勝ちまし
た。そしてその後交流会などもあり、試合
では負けてしま、た月、三年生最後の大会、
いい思い出ができてよかったです。

学校名	西之表市種子島中学校	
学年	三年四組	
氏名	山田	カ人
性別	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	

題名
後悔した試合

ぼくは交流試合が終わったあと、後悔しか
ありませんでした。三年間今までがんばって
きたことがすべてムダになったように思えま
した。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

その日の試合ぼくは先発でした。試合会場
ではフツフが出来ないので違う場所で行って
いました。グラウンドで入念にキック。チボー
ルをして軽くピッチングをしました。グラウ
ンドでのピッチング練習をしているとき少し

投球フォームを変えてしまいコントロールが
悪くなりました。そして球場に着いたときは
全然きんちうはしませんでした。試合が
始まり打者がバッターボックスに立つとき
ちようとしてしまいました。先頭打者はサード
フライで抑えました。続く二番打者はエラ
ーで出塁。ぼくは次の打者を抑えようと思
いカみましました。けっきょく四球で走者を出して
しまいエラーもかさなつてノーヒットで点を
取らねてしまいました。二回になつても力を

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

入れすぎて先頭打者に四球を出して次の打者に四球を出しました。けっきょくこの回は三つも四球を出しましたが、点はとられませんでした。三四、先頭打者を三振にとるも、次の打者に四球を出し、二回と三分の一で降板しました。ベンチに戻ると皆はよく投げたとかナイスピッチという言葉をかけてくれました。したが、ぼくはずっと下を向いていました。三年間がんばってきたことがムゲンになつた。か先発の役割りを果たせなかつたとかずつと考えていました。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

試合は勝ちましたが、ぼくは後悔していません。多分ぼくはずっとあの試合を忘れないと思います。高校でも野球をするための経験の一部として老之前向きにいきたいと思えます。

高校で同じ事を二度とくり返さないように今トシ一ニングをしたいと思います。ぼくにとってこの大会はとてもいろいろなことが経験できる大会でした。

学校名

種子島中学校

学 年

三年 四組

氏名

南信太郎

性 別

男・女

題名

離島甲子園

8月18日から22日まで愛媛県の上島町で開
 さいされた第四会離島甲子園がありました。
 ちゅう選の結果、ほくたち種子島中学校は
 初戦奥尻うにまるファイターズでした。ほく
 は、去年の離島甲子園もでて奥尻うにまるア
 イターズと戦いました。その時は勝てたけど
 今回戦ったらずごく強くなっていました。ほ
 くは、試合にはでれなかつたけどベンチでバ
 ト捨いをしそみんなのサポートできてよかつ

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

たです。でも、試合におしくも負けてしま
 ました。この大会が三年生の最後の大会だ
 たのですごくかなしかつたです。
 次の日に、交流戦で鳥羽選はつと戦いまし
 た。その日は雲がたくさんかかっていたけ
 っこう動きやすかつたです。試合では、4回裏
 から代打でできました。かんとくのサインは送
 りバントでした。二球目でしつかり成功させ
 て一ランナーを二塁に進めることがで
 きたのでよかつたです。でも本当は打ちたか

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

たです。守備はライトでできました。ボールは
 一球も飛んでいかなかった。たけど、楽しく野球が
 できてよかったです。結果は3-2ぐらいで
 サヨナラ勝ちでしたのでよかったです。
 決勝戦では上島のチームと久米島との戦い
 でした。その日は、天候が悪くてすごい雨で
 した。その結果2チームとも優勝でした。
 その後、プロ野球教室と交流会がありま
 した。

野球教室は、まさかりドリムズの人が教

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

えてくれました。ぼくは、外野手なのでフラ
 イのとり方やゴロのとり方を教えてくれて、
 とてもためになったのでよかったです。教え
 ていただいた事をしっかりと頭にいらておきた
 いです。

交流会では、他のチームの人としゃべった
 リ、飯を食べて交流を深めました。ぼくは、
 ハ丈島の人とたくさんしゃべりながら食事を
 しました。すごく楽しかったです。この経験
 は一生忘れない大会になりました。

種子島中学校

三年 四組 大河 龍成

離島甲子園

8月18日から22日の四日間愛媛県上島町で開催された離島甲子園に出場しました。ぼくは最初の抽選会でこのチームときたるか、ドキドキしてりました。そして、ぼくたちと、当たったところが北海道の奥尻うみまるフーズというチームときたることになりました。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

そして、本選が始まりました。ぼくは、試合に出ませんが、試合に出る人のために、サポーターや応援を懸命がんばりました。が、ぼくたちの応援が届かなかつたせい、か一回戦で負けてしまいました。けれど、みんな楽しくできていたと思います。

そして二日目は、交流戦で鳥羽選抜というチームと戦うことになりました。交流戦では、しびしい試合以外の人と出させてもらいました。チームのみんなと交流をもちました。

三対二で勝つことができました。
 そして、あつというまでに、四日間という時
 間が過ぎこの離島甲子園であふたに思うこと
 ができたのは、どのチームもあまり野球ので
 きる環境がととのってはいないというのにみ
 んな野球への思いは、みんな同じようなもの
 を持っていて、いることをつうかんとしました。それ
 に、ぼくたち離島球息たちは、野球というす
 ばらしい絆でつながりその絆をまたさらに離
 島甲子園という大会でその絆を深めるいいき

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

かいになつたと思います。

最後に、みんな試合に出あててもらいたい
 一懸の思い出に残るいい大会になつたのでほ
 くは思います。

1. 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3. 文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったところから書き始めましょう。

離島甲子園

三年 三組 宇辰 大紀

八月十八日から離島甲子園に行きました。船と新幹線に乗って愛媛の上島町に行きました。着いたらバスで開会式の会場に行って、開会式をしました。終わると旅館に帰って夕食を食べて寝ました。

二日目は、試合が始まりました。種中は、二試合目でした。一試合目の試合の時間に、アツアツノック、バントなどの練習をギリギリ

西之表市立種子島中学校

りまでしました。試合は、シートノックを両校五分ずつしてから始まりました。一回表にアンラツキいなピットとスクイズで一点をとられました。次の回も一点をとられ、二対〇に点差を広げられました。功げきでは、相手のピッチャーにタイムリングが合わずに四回までピット数本しか打てませんでした。五回表にもフォアボールとピットで一点をとられ、三対〇のまま最終回になりました。まず先頭打者のツーパーズと内野ゴロでランナーを三

(不許複製)

5. 読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。
6. 人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかえてマスのなかに入れましょう。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしっかりと使いわけましょう。
8. 書きおわったら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことは書きおさない、むだなことは書きずりましょう。



1. 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましよう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましよう。
3. 文章は三行めから一字きけて書きはじめましよう。
4. 文章の標題をしっかりと立ててから書きはじめましよう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったあつたあつた行を空えましよう。

離島甲子園

木原 智史

ぼくは、初めて離島甲子園に行きました。三年生にして、これは最後の試合でワウワウしていました。四泊五日という長い日々でした。初日は、開会式があつて、キャプテンの意気込みなびをきいたりしました。大会会長の村田ちゅういさんの話もありました。その後、は旅館に行つて、温泉に入つたりトレーニング場に行きました。

西之表市立種子島中学校

そして、次の日に試合がありました。ぼくたちは二試合目に、北海道の奥尻と試合をしました。時間制で九十分でした。残念ながら、四対三で負けました。その次の日には、交流戦で、島羽と戦いました。Bが試合をしました。結果は四対三で逆点勝ちをしました。その日の夜に、ぼくはトレーニング場でスワッシュもたくさんしました。

(不許複製)

5. 読みやすいように、と。とをしっかりとつけましよう。
6. 人が話したところには、「」のなかに入れてましよう。「」は、それぞれ一字にかえて、マスのなかの右上のほうにつけましよう。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましよう。
8. 書きおつたら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはをおきない、むだなことはをけすましよう。



学校名
種子島中学

学年
3年 4組

氏名
鎌田 貴久

性別
男

題名
離島甲子園

ぼくは種子島中学校の野球部として、第4
回全国離島交流中学生野球大会に出場させて
もらうことができました。
1日目は船で鹿児島市の港につき、港からバ
スで中央駅まで行き、中央駅から新幹線に乗り、
松州を初めて通りぬけて、広島県にいき、ここ
からバスで広島県の港に行き、港から愛媛県の上島
野に、つくことになりました。すごくながいみ
ちのりでつかれたけど、楽しかったです。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

ぼくたちは上島町の中の岩城島のホテルで
4宿5日過ごすことになりました。中に荷物
をおおきく削島である開会せしモノに船で行
きました。開会せしモノには抽選会などが
あり、楽しかったです。
2日目は開会式があり、そのあと試合が始ま
り、試合日毎尻うにまるアマイトで、で勝
てると思いましたが、みんな元気が出なくて負
けてしまいました。

3日目は、本戦で負けたチームがあつまり

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

交流戦をするこ
 になる、いまも試合に出
 ている人でなくぼくたちの
 ぎうない、フモ出てい
 ない人達を監督はフカフ
 てくねてとでもうれ
 しかつたです。試合は島羽
 選抜とで、ぼくは
 ピッチを打つこともでき
 たしエラーもなく楽
 しくプレイをできると
 てもよかったです。思
 いました。

そして4日目は、野球教室
 があり村田さん
 率いる、マサカリドリ
 ームのみなさんと、
 もとプロ野球選手の人
 たちが、内野、外野、

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

キヤッチャー、ピッチャー
 などに別れて教えても
 ぐいしました。ぼくは内野
 なので、守備に
 つくとき、立ち方などを
 教えていただきました。
 そしてサヨナラプレイ
 でした。はい、みんなと
 知りあうことができて
 よかったです。

この4日間は今年で一番
 の思い出となりま
 した。そしてこれから
 も感謝の気持ち忘れ
 ずに野球を頑張りたい
 です。本当にありがとう
 ございました。

離島甲子園に参加して

西村 将太郎

ぼくは種子島に帰って来て思った事は、本
当に参加してよかったなあと思いましたが、ぼ
くは今回離島甲子園に参加していろいろなこ
とを学びました。

一つ目は最後まであきらめない事の大切
さです。理由は、隠岐の島のチームが七対〇
から大逆転をしたからです。その時の隠岐の
島のチームの人達は最後まであきらめず全力

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

でプレーした事がとても胸に残っています。

二つ目は、笑顔の大切さです。どのチーム
もみんなピンキでも笑顔でピリチャリ声を
かけたりしていました。これを見て僕はかっ
こいいなあと思いました。

僕は今回離島甲子園で学んだこと経験した
ことを今後の人生にいかしていきたいと思っ
ます。

離島甲子園の感想

山口 賢也

八月十八日から八月二十二日まで離島甲子園が行なわれました。一日目から協働と開会セレモニーとハードな日になりました。開会セレモニーでは、対戦相手が発表されました。北海道の奥尻うにまるフアイターズというチームと一回戦、対戦することになりました。もちろん目標は優勝でした。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

次の日は、練習試合という形になりました。相手は、三重の鳥羽選技というチームでした。この試合ではチーム全員で戦うことの出来た試合でした。勝ち負け関係なくとも今までの一番内容のあった試合になったと思います。

最終日は、雨が降りました。その中野球教室が行われました。プロの選手はみんな大きかったです。

くましか、たです。短い時間の中でものすび
く、丁ねいに教えてくださいました。教えても
ら、たことを守りいいプレーができるように
がんばりたいです。とてもいい離島甲子園で
した。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

学校名	種子島中学校	
学年	3年	2組
氏名	佐田	光佑
性別	男	

題名 離島甲子園の思い出

ほくたち、種子島中学校野球部は、大きな大会、夏の県総大の後にある、もう一つの大会、離島甲子園に出向きました。まず初日、船で鹿児島まで行き、そこから飛行機かと思いきや、新幹線で広島まで四時間かけて行きました。そこからバスに乗り、一時間ゆられ続けて、またフェリーに乗り、もう乗り物続きの初日でした。そして二日目、ようやく試合です。ほくたちは、北海道のチーム、奥尻ウニまるフライターズというチームでした。ほくたちは、勝っていたつもりだったのですが、朝だったからでしょうか。みんな、体が動いておらず、まさかの初戦負け。悔しかったです。こうせ参加するのなら優勝までしたかったです。次の日には、佐渡のチームと隠岐ノ島のチームの対戦を見てとても感動しました。七村一からの隠岐ノ島の逆転劇を見て、あきらめなりのことは、大事なな。とつくづく思いました。その日には、友

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

な。とつくづく思いました。その日には、友

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計

流戦もあり、ほくたちは、試合に出ていない
 Bチームで出場しました。1対2で負けてい
 た。ほくたちは、最終回Aチームから連続で
 代打を出し3対2と逆転に成功しました。最
 終日には、さよならパーティーがありました。
 盛りか用意されておりました。ほくたちは、東京の
 ハマ島のみなさんとリッショに食べました。
 ご飯はおいしく、ジュースもたくさんあり、
 みんなと笑って合ったりしてとても楽しかった
 下す。途中で、チームもあり、ほくたちの今

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

チームからは、山田カ人君が出てホッルを外し、
 リッキー走り出し、スベリちらかしました。
 見てて同じチームのほくたちが取っかしかつ
 たです。でも盛り上がり、たの良か、た
 と思いません。ほくたちは、ミックスマス
 を作って飲ませたりして楽しめました。とて
 も良い一日でした。そして最後の日は、船
 に、新幹線に、バスに、フェリーに、ゆられ
 続けて、や、とほくたちの島、種子島に帰っ
 てきました。や、は種子島が良いです。

種子島中学校

離島甲子園の感想

砂坂 大希

八月十八日から四日間離島甲子園がありました。

一日目は、半日かけて愛媛県上島町に行き、組み合わせ抽選のために会場へ向かいました。一回戦の相手は北海道の奥尻うにまるフアイターズというところに決定しました。その日は、初戦に備えて早めに寝ました。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

そして迎えた初戦の日。試合は4対3で惜敗してしまいました。声を枯らして応援していましたが、勝利には結びつきませんでした。次の日は、交流戦があり、初戦で出場しなかったBチームが試合をしました。みんなで頑張った結果、勝利することができました。すごく良い引退試合でした。

交流戦も決勝戦も終わり、プロ野球OBの方々に野球教室で色々教えてもらいました。OBの方たちと仲良くすることもできたので楽しかったです。

最後のイベントで、さよならパーティーが
 ありました。
 まず、村田さんのあいさつや、OBの方のあ
 いさつが始まって、みんなでご飯を食べま
 した。
 他の中学校の子たちと喋れたりして、た
 です。
 レクリエーションもして、種子中からは田
 君が出演しました。景品はとれなかったけど、
 笑いをとって帰りました。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

こうして離島甲子園は幕を閉じました。
 来年は後輩達に頑張ってもらいたいです。
 最高の思い出になりました。

